

# 建築審査会資料の図書一覧

## 1 各図書の作成要領

図書の種類	明示すべき事項																				
案内図 ( 現況と相違している、古い住宅地図の複写利用は不可 )	縮尺、方位、道路及び目標となる地物 申請地を橙色で縁取る、道を黄色で着色、当該道に面して過去に許可のあった場所(年度)を表示、都市計画施設(都市計画道路等)を表示、案内図の道路を次の区分により、道路ごとに色分けして表示。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法 4 2 条 1 項 1 号</td> <td>茶色</td> <td>法 4 2 条 1 項 5 号</td> <td>赤色</td> </tr> <tr> <td>法 4 2 条 1 項 2 号</td> <td>橙色</td> <td>法 4 2 条 2 項</td> <td>青色</td> </tr> <tr> <td>法 4 2 条 1 項 3 号</td> <td>紫色</td> <td>当 該 道</td> <td>黄 色</td> </tr> <tr> <td>法 4 2 条 1 項 4 号</td> <td>桃色</td> <td>当 該 申 請 地</td> <td>橙色(外枠)</td> </tr> </tbody> </table> ( 申請地を案内図の中心に配置し、上記凡例を案内図の右上に表示。 )	凡 例				法 4 2 条 1 項 1 号	茶色	法 4 2 条 1 項 5 号	赤色	法 4 2 条 1 項 2 号	橙色	法 4 2 条 2 項	青色	法 4 2 条 1 項 3 号	紫色	当 該 道	黄 色	法 4 2 条 1 項 4 号	桃色	当 該 申 請 地	橙色(外枠)
凡 例																					
法 4 2 条 1 項 1 号	茶色	法 4 2 条 1 項 5 号	赤色																		
法 4 2 条 1 項 2 号	橙色	法 4 2 条 2 項	青色																		
法 4 2 条 1 項 3 号	紫色	当 該 道	黄 色																		
法 4 2 条 1 項 4 号	桃色	当 該 申 請 地	橙色(外枠)																		
配置図	縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建築物の位置(有効寸法)、申請に係る建築物と他の建築物との別、塀及び擁壁の位置、申請地に接する道の位置及び幅員、道の後退部分の舗装方法、申請地を橙色で縁取る、道を黄色で着色、土地の高低、2方向避難の扉の位置及び有効幅等を表示。 ( 道路斜線及び高度地区斜線は表示しない。 )																				
道の現況図	縮尺、方位、道の幅員、接続する道路からの延長距離等、写真撮影位置(・・・と表示)を表示。 申請地を橙色で縁取る、道を黄色で着色、接続する道路(上記凡例に従い着色)から申請地までの道を図示。																				
道の現況写真 (カラーコピー)	撮影位置は、接続先道路の状況、道の状況、申請地の現況、行き止まりの道は終端部の状況がわかるものとし、その他事前審査時に指示のあった位置を表示。(写真撮影年月日を表示)																				
公 図 写	縮尺、方位、申請地、道、接続する道路(上記凡例に従い着色)を表示。協定に係る道の範囲を赤点線で縁取る、道の後退状況を着色、申請地及び道の関係地番を承諾状況により指定の色で枠取りし、凡例を表示。																				

## 2 図書の体裁

- ( 1 ) すべて A 3 版の用紙を横使い( A 4 版縦仕上げ Z 折り)とする。
- ( 2 ) 色分けははっきりと着色する。
- ( 3 ) 図書の種類を表示する。
- ( 4 ) 案内図及び配置図については 1 枚にまとめ、用紙の左側に案内図、右側に配置図を表示し、それぞれの方位を同一方向とする。
- ( 5 ) ホチキス留めはしない。

## 3 提出部数及び期限

事前審査後、指摘事項を修正のうえ許可申請の際に事前に 5 部提出。  
その後、担当からの連絡後に 1 5 部提出。(修正がある図書については 2 0 部)